

本校は4年前から飼育環境のストレスフリー化を取組の柱とし、令和元年・2年度は「牛舎の暑熱対策」を、3年度は「哺乳方法の違いによる肥育成績の違い」をテーマに活動した。

今年のテーマを「害虫駆除！ハエ対策」に決め、ハエの対策について取り組んだ。

ハエを発生させないために、成虫の駆除や成虫になる前の駆除をする必要があると考え、今年度は成虫の駆除を行うことにした。

ハエの駆除の方法として ①粘着シートによる駆除と②誘引剤による駆除を実施した。

シートはかなり多くのハエをとることができたが、経費がかかりすぎた。

誘引剤は薬剤を用いたものの方が効果的だが、市販のめんつゆとお酢にそれぞれ食器用洗剤を混ぜ手作りの誘引剤を作り実験した。

観察したところ、お酢よりもめんつゆの方にハエが多く捕まったので、容器をカップから面積が広く、深さのあるトレイに変更し設置した。

結果

粘着シートは①たくさんのハエを捕まえることが出来た。②たくさんのシートが必要で、経費がかかる。③設置によるストレスはない。

誘引剤は①めんつゆ主体の誘引剤が有効。②器は面積が広く、深さが必要。③設置によるストレスはない。

考察

粘着シートと誘引剤を用いて駆除を試みて、たくさんハエを捕獲することができたが牛舎内や牛体を観察してみるとハエが劇的に減少したことはなかった。

やはり成虫のみではなく卵や幼虫、蛹の状態からの駆除の方法の確率が必要だと思った。

出品牛は例年通り、3つの総合判定方法により、奈奈雄号と寧旺号の2頭に決定した。